

「ともだちは海のおい」

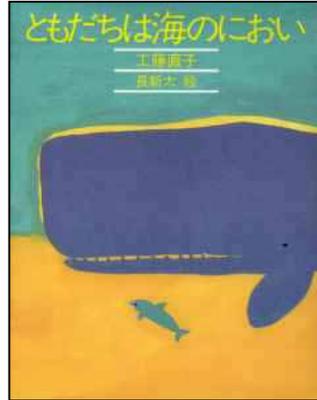
工藤 直子 作

長 新太 絵

理論社

満天の星ふる下、寂しいほど静まり返った夜の海で、イルカは大きなクジラと出会う。

クジラがパリに出かけたときや、イルカがこわい夢を見たときなど、2頭はおたがいを思う。美しい海の情景とともにイルカとクジラの友情を優しく見守る物語です。



「栗林さんの虫めがね 1～4」

栗林 慧 著

フレーベル館



虫の目で見ると、昆虫達はどうなって見えるだろう。

ミツバチの食事、カナブンのおしっこ、ウンチ等。

昆虫写真家の栗林さん自作カメラで撮った写真絵本。

他に発見、変身など全4冊。

「魔女のこねこゴブリーノ」

アーシュラ・ウィリアムズ 作

中川 千尋 訳

平出 衛 絵

福音館書店



主人公は、魔女猫の子どもですが、ふつうの猫になりたいという強い願いを持っています。自分らしい生き方を探すゴブリーノと、その手助けをする人たちとの間で展開する物語は、勇気と希望を与えてくれます。

「メアリー・スミス」

アンドレア・ユーレン 作

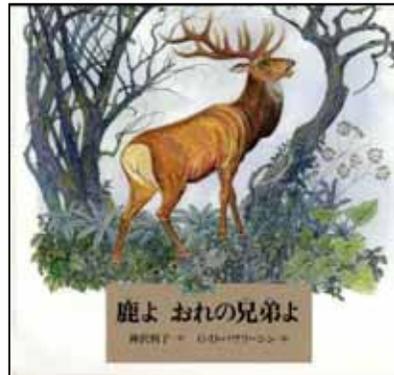
千葉 茂樹 訳

光村教育図書

メアリー・スミスは、ロンドンに住んでいた実在の人物。夜が明けぬうちに家を出て、ポケットから取り出した豆を、よその家の窓にチューブで吹き飛ばすのが仕事です。時計が普及する前は、こんな「めざまし屋」が必要でした。



「鹿よ おれの兄弟よ」
神沢 利子 作
G・D・パヴリーシン 絵
福音館書店



幼い頃、おとうさんやお
じいさんが鹿を獲り、おか
あさん、おばあさんがもえ
る火を囲んでわらっていた
頃を思いだす。

そして、今はひとりで鹿を獲るために小舟をこいで、
おとうさんたちがたどった同じ川をのぼっていきます。
静まりかえった森に鹿の声、枝をふみおる音がして、
やがて銃声がひびきわたります。



**「しあわせいっぱい荘に
やってきたワニ」**
アーシュラ・ウィリアムズ さく
吉上 恭太 やく
堀川 理万子 え
福音館書店

ジョニーは、やさしくてしんせ
つなミネアポリスさんの下宿に住
んでいます。ある日、キティーという名のワニをプレ
ゼント。歯をみがいていたら、あやまって、キティー
の口の中に入って、出られなくなってしまいました。

「ふしぎなかけじく」

イ・ヨンギョン 絵と文

おおたけ きよみ 訳

アートン



チョンウチ道士からもらったふしぎなかけじくのおかげで、くらしが楽になったハンジャギョン。ところが...

韓国のふしぎでおもしろい昔話。

「土の中からでてきたよ」

小川 忠博 写真と文

平凡社

大昔の人が住んでいた遺跡からは、おもしろい物がたくさん見つかっているよ。

ふしぎな飾りのついた土器、アクセサリーに大昔の食べ物。それに、なんとうんちまで！





「エルシー・ピドック、
ゆめでなわとびをする」
エリナー・ファージョン 作
シャーロット・ヴォーク 絵
石井 桃子 訳
岩波書店

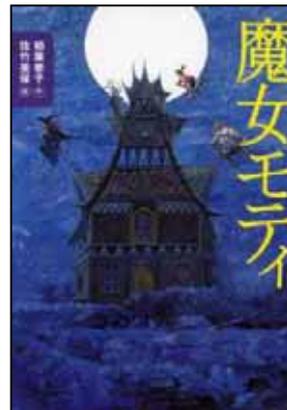
生まれながらのなわとび名人
エルシー・ピドックは、妖精の
なわとび師匠から様々な技と、魔法をかけたなわとび
のなわを授かります。

それから100年。伝説となったエルシーが、悪い
領主に立ち向かうべく、再びその技をひろうします...!!

「魔女モティ」

柏葉 幸子 作
佐竹 美保 絵
講談社

お母さんに反発して家出した
小学5年の紀恵。公園で困って
いるところに現れたのは、立っ
て言葉を話す黒猫。その黒猫か
らある人の家族になってほしい
と頼まれて喜んで引き受けた紀
恵だったが、お母さんは魔女で
お父さんはピエロだった！

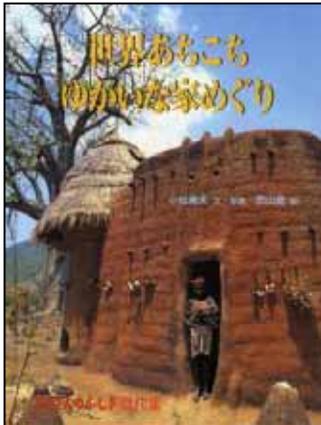


「世界あちこちゆかいな家めぐり」

小松 義夫 文・写真

西山 晶 絵

福音館書店



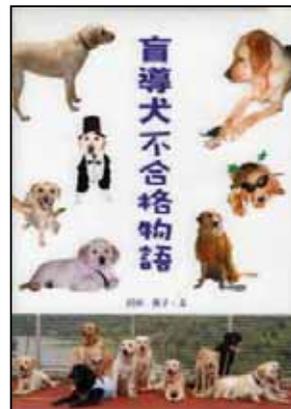
世界中の人たちは、それぞれどんな家に住んでいるんだろう？ 土地や生活に合わせた家は、細かいところまで工夫がいっぱい！ 写真や絵を見ているだけで、その家に住んでる気分になれるかも。

「盲導犬不合格物語」

沢田 俊子 文

学習研究社

「不合格犬」だなんて、カッコ悪い？ いえいえ、そんな事ありません。彼らは、「盲導犬には向いていなかった」だけ。介助犬になったり、マジック犬（！）になったりして、みんな活やくしています。



「不合格犬」だって、カッコ良い！！